



全国芽生会連合会

NO.17
2025.2.19

ホームページ:<https://mebaekai.com/>

『EAT AID by 金沢芽生会 能登食材の今とこれからを考えるフォーラム』

令和7年1月23日（木）「のと楽」石川県七尾市石崎町香島1-14

2025年1月23日、和倉温泉の旅館「のと楽」にて、『EAT AID by 金沢芽生会 能登食材の今とこれからを考えるフォーラム』を開催いたしました。今回のフォーラムは、2024年1月1日に発生した能登地震で被害を受けた生産者の皆様に支援し、能登の豊かな食材の未来を共に考えるために企画されたものです。

午前中は、全国から集まった芽生会会員たちが、被災した各生産者の状況を視察し 午後からは、和倉温泉「のと楽」にてフォーラムを開催。全国芽生会連合会の土屋兵衛理事長による開会挨拶に続き、農業、漁業、畜産の各生産者の皆様と、金沢芽生会所属の「浅田屋」浅田久太社長、「銭屋」高木慎一郎社長をパネリストに迎え、パネルディスカッションを行いました。このディスカッションでは、震災によって直面している現状と課題、そして能登の食材を守り、未来へと繋げるための具体的なアイデアが活発に交わされました。ファシリテーターには、東日本大震災の被災地でまちづくりに携わる「東北大学災害科学国際研究所」の姥浦道生教授をお迎えし、被災地支援の経験を踏まえた貴重なご助言をいただきました。



『懇親会』

「のと楽」石川県七尾市石崎町香島1-14

その後、同会場の「のと楽」で地元能登の食材をふんだんに使用した料理を味わいました。全国から集まった芽生会会員は、生産者の方々と直接交流し、食材の魅力や今後の取り組みについて意見を交わすことで、支援の輪をさらに広げるきっかけとなりました。また、生産者と芽生会会員の情報交換の場として、LINEグループを作成し、継続的な連携を図ることといたしました。今後も金沢芽生会では、能登の食材を全国へ発信し、生産者の皆様と共に歩むための活動を続けてまいります。引き続き、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

担当：和田 壮央

